「希望・創造・友情」　あふれる学校
すずかぜ
都立花畑学園
第６号
R７/９/１　発行
花畑学園の学校だより

ランドルト環と応援の言葉で支える

校長　永島　崇子

9月、前期も後半が始まりました。今年はいつもより少し長い夏休み、しかも東京都内で 40℃越えの地域も出るという、これまで経験したことのない暑い夏でした。夏休み中に津波警報が出た時は、学校ではちょうど避難所設営のための防災講演会の準備をしていた時で、「訓練、訓練」と言わない警報アナウンスが流れ、打ち合わせに参加した全員の緊張感が高まったことを思い出します。災害はいつ起こるかわかりませんから、まさに備えあれば憂いなし、を再認識しました。

さて、今年の3月最後の学校だよりで、ペップトーク（応援の言葉）についてお話しさせていただきましたが、その続きでもう一つお話しします。皆さんは「ランドルト環」をご存じでしょうか。視力検査でおなじみの「C」のマークで、世界中で使われている国際的な規格記号です。私達は、このランドルト環の黒い部分よりも「欠けている部分」に目がいきませんか？視力検査としてはそれでいいのですが、「あれもできていない、これもできていない」という足りないものに気持ちが引っ張られる状態に陥ってしまうことがあるそうです。これは脳の認知機能の一つでネガティビティバイアスとも言います。でも、黒いところをよく見てみると、できていることも実はたくさんあることに気付かされます。この夏休みの間にも、黒い部分の伸びたこと、厚みを増したことが、あるのではないでしょうか。できていることに対して「よし、頑張っているよ！」と誉め、支えつつ、新しい挑戦ができるといいなと思っております。前期はもう少し続きます。引き続き熱中症に気を付けながら学習を進めてまいります。御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

【教務部より】　　教務部　担当主幹　入川　智直

６月から始まった水泳指導では、子どもたちが水中での活動を楽しみながら、笑顔で取り組む姿が多く見られます。水に慣れ、リラックスした様子で体を動かすことで、心身の成長にもつながっています。今年は例年よりも高温の日が続いているため、学校では安全を最優先に、救急救命講習や外部講師による研修を実施し、WBGT（暑さ指数）をこまめに確認しながら指導を行っています。御家庭でも、体調管理や水泳の準備への御協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

また、10 月の学園祭に向け、各学年で取り組みが始まっていきます。中には、夏休み前から準備を進める学年もあり、劇の練習に熱心に取り組んだり、動画作成のために何度もシーンを撮り直したりする様子が見られました。今年度も、花畑学園ならではの学園祭をどうぞ御期待ください。

【自立活動部より】　　自立活動部　主任教諭　富樫　孝一

本校は、4名の自立活動専任教員が中心となり、担任はもちろん保健室や外部専門家、整形外科学校医とも連携を取って校内の自立活動の活性化に努めています。

現在、校内の自立活動では様々な運動学習を通して安定した姿勢保持や呼吸がしやすいポジショニングの学習をしています。また、スイッチ教材や視線入力装置を用いて、「自分の身体を動かしたらできた」を大切にしながら、因果関係の理解を深めています。高等部の指導では、卒業後の進路を見据え、パソコンの音声入力やトラックボールを使った操作の学習をしています。そして、移動方法の確立を目指し、屋外で様々な場所を歩いたり、電動車いすや手動車いすで走行したりしながら移動する経験を養っています。時には、初めての場所に行くことを想定し、スマートフォンの地図アプリを駆使して目的の場所まで自分の力で行く学習もしています。

今後も保護者の皆様と連携し、子供たち一人一人に応じた指導の充実に努めて参ります。